※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新地理総合」（帝国書院）　・　「詳解現代地図」（二宮書店）						
副教材等	「新詳地理資料 COMPLETE」（帝国書院）　・　「新地理総合ノート」（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。ただ、用語を覚えるだけでなく、常に「なぜ」の視点をもちながら地理的事象について考えてみましょう。
・地図、統計、写真、映像資料などから読み取った情報を整理したり、授業で学習した内容を地図やグラフで表現したりする活動を行います。
・教科書準拠のワークを用いて課題に取り組んでもらいます。家庭での予習復習として丁寧に取り組みましょう。課題は定期的に提出してもらいます。
・授業中のノートについては板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気付いたこと、教員やクラスメイトの発言をよく聞き、ノートに記入しましょう。

２　学習の到達目標

・地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
・地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。
・地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基本的な地理的知識を理解・修得しそれらを人々の生活を関連づけることができる。	地図、統計、写真、映像などを通して地理的事象を考察することによって、自ら判断し、地図、グラフなどを作成する表現力を養う。また、教科書や諸資料から適切な情報を読み取り、地図、グラフの作成や書き込み教材への記述、授業での発言をすることで、その理解を深めることができる。	学習活動を通して、世界の地理的事象に関心を持ち、学習活動に自ら積極的に学ぶ姿勢を培う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思 b:	主(c)
1学期	地球上の位置と時差	時差と私たちの生活	a: 時差のしくみ, 時差が生活に与える影響について理解している。 b: 時差のしくみ, 時差が生活に与える影響について, 多面的・多角的に考察し, 表現している。 c: 時差のしくみ, 時差が生活に与える影響について, よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。	定期考査	定期考査 課題提出	ワークシート
	地図の役割と種類	地球儀と地図	a: 球体の地球と平面の地図, さまざまな地図投影法（図法）について理解している。 b: 球体の地球と平面の地図, さまざまな地図投影法（図法）について, 多面的・多角的に考察し, 表現している。 c: 球体の地球と平面の地図, さまざまな地図投影法（図法）について, よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。	定期考査	定期考査 課題提出	ワークシート
		身の回りの地図	a: 身の回りの主題図やさまざまな一般図の表現方法や用途について理解している。 b: 身の回りの主題図やさまざまな一般図の表現方法や用途について, 多面的・多角的に考察し, 表現している。 c: 身の回りの主題図やさまざまな一般図の表現方法や用途について, よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート
		統計地図の種類と利用	a: 統計地図の種類, 統計地図の比較と使い分けについて理解しており, 基礎的・基本的な技能を身に付けている。 b: 統計地図の種類, 統計地図の比較と使い分けについて, 多面的・多角的に考察し, 表現している。 c: 統計地図の種類, 統計地図の比較と使い分けについて, よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート
	現代世界の国家と領域	現代世界の国家	a: 国境の種類, 国家の領域, 国家の主権について理解している。 b: 国境の種類, 国家の領域, 国家の主権について, 多面的・多角的に考察し, 表現している。 c: 国境の種類, 国家の領域, 国家の主権について, よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

		日本の位置と領域	a：日本の位置と領域，排他的経済水域の特徴，日本の領土をめぐる問題について理解している。 b：日本の位置と領域，排他的経済水域の特徴，日本の領土をめぐる問題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：日本の位置と領域，排他的経済水域の特徴，日本の領土をめぐる問題について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート
２学期	世界の地形と人々の生活	大地形と人々の生活	a：生活の舞台となる陸地，地形をつくる営力，大地形を構成する変動帯と安定地域について理解している。 b：生活の舞台となる陸地，地形をつくる営力，大地形を構成する変動帯と安定地域について，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：生活の舞台となる陸地，地形をつくる営力，大地形を構成する変動帯と安定地域について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	ワークシート
		河川がつくる地形と人々の生活	a：河川がつくる地形と生活の関わり，上・中流域の地形と生活への影響，下流域の地形と生活への影響について理解している。 b：河川がつくる地形と生活の関わり，上・中流域の地形と生活への影響，下流域の地形と生活への影響について，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：河川がつくる地形と生活の関わり，上・中流域の地形と生活への影響，下流域の地形と生活への影響について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート
		海岸の地形と人々の生活	a：海の恵みを生かした産業，海岸の地形と生活の関わりについて理解している。 b：海の恵みを生かした産業，海岸の地形と生活の関わりについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：海の恵みを生かした産業，海岸の地形と生活の関わりについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート
	世界の気候と人々の生活	気温・降水と人々の生活	a：気候が生活に与える影響，気温のしくみと分布の特徴，降水のしくみと分布の特徴について理解している。 b：気候が生活に与える影響，気温のしくみと分布の特徴，降水のしくみと分布の特徴について，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：気候が生活に与える影響，気温のしくみと分布の特徴，降水のしくみと分布の特徴について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	世界の気候と人々の生活	大気大循環と人々の生活	a：大気大循環・恒常風のしくみと生活への影響，季節風（モンスーン）のしくみと生活への影響について理解している。 b：大気大循環・恒常風のしくみと生活への影響，季節風（モンスーン）のしくみと生活への影響について，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：大気大循環・恒常風のしくみと生活への影響，季節風（モンスーン）のしくみと生活への影響について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート
		世界の植生と気候区分	a：植生と気候の関わり，ケッペンの気候区分について理解している。 b：植生と気候の関わり，ケッペンの気候区分について，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：植生と気候の関わり，ケッペンの気候区分について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート
	世界の宗教と人々の生活	世界の宗教と人々の生活文化	a：宗教の食生活への影響，宗教と生活の関わりについて理解している。 b：宗教の食生活への影響，宗教と生活の関わりについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：宗教の食生活への影響，宗教と生活の関わりについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査	提出課題	ワークシート
３学期	歴史的背景と人々の生活	歴史的背景が人々の生活に与える影響	a：生活文化に影響した歴史的背景，冷戦時代の体制が生活に与える影響について理解している。 b：生活文化に影響した歴史的背景，冷戦時代の体制が生活に与える影響について，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：生活文化に影響した歴史的背景，冷戦時代の体制が生活に与える影響について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	ワークシート
	世界の産業と人々の生活	人々の生活を支える農業の発展	a：人々の工夫と農業の発展，農業の発展と生産性，農業の近代化とその課題について理解している。 b：人々の工夫と農業の発展，農業の発展と生産性，農業の近代化とその課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：人々の工夫と農業の発展，農業の発展と生産性，農業の近代化とその課題について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート
	世界の産業と人々の生活	人々の生活を支える工業の発展	a：工業の発達と生活の変化，工業地域の地域差について理解している。 b：工業の発達と生活の変化，工業地域の地域差について，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：工業の発達と生活の変化，工業地域の地域差について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

		グローバル化する現代の産業と人々の生活	a：企業活動のグローバル化と人々の生活への影響,脱工業化社会と人々の生活について理解している。 b：企業活動のグローバル化と人々の生活への影響,脱工業化社会と人々の生活について，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：企業活動のグローバル化と人々の生活への影響,脱工業化社会と人々の生活について,よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート
	複雑に絡み合う地球的課題	相互に関連する地球的課題とその解決に向けて	a：地球的課題の背景にある経済格差,地球的課題の解決に向けての取り組みや私たちにできることについて理解している。 b：地球的課題の背景にある経済格差,地球的課題の解決に向けての取り組みや私たちにできることについて,多面的・多角的に考察し，表現している。 c：地球的課題の背景にある経済格差,地球的課題の解決に向けての取り組みや私たちにできることについて,よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究,解決しようとしている。	定期考査	提出課題	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度